

平成29年度 事業報告

<観光交流事業>

I 総務事業

1 管理運営事業

(1) 会議等の開催

ア 定期総会

開催日	平成29年5月31日(金)
会場	富士商工会議所 4階会議室
内容	平成28年度事業報告について 平成28年度収支決算について 平成29年度事業計画(案)について 平成29年度収支予算(案)について

イ 理事会

・第1回理事会

開催日	平成29年5月19日(金)
会場	富士商工会議所 3階会議室
内容	平成28年度事業報告について 平成28年度収支決算について 平成29年度事業計画(案)について 平成29年度収支予算(案)について

・第2回理事会

開催日	平成29年11月22日(水)
会場	ゲストハウス フォレストヒルズ
内容	平成29年度上半期事業報告について 平成29年度上半期予算執行状況について 富士市新富士駅都市施設指定管理について 平成29年度上半期入会会員報告について

・第3回理事会

開催日	平成30年3月23日(金)
会場	富士市文化会館ロゼシアター4階 特別会議室
内容	平成30年度事業計画(案)について 平成30年度予算(案)について 役員改選について 平成29年度下半期入会会員報告について 平成30年度第1回理事会及び総会の日程確認について

2 企画調整事業

(1) セミナー・研修会等開催事業

ア おもてなしセミナー2017

開催日 平成29年6月13日(火)
会場 ふじさんめっせ 会議室
参加者 60人
講師 コーチング・コミュニケーション研修講師 山口真未氏
内容 富士地域の来訪者に最初に接するタクシードライバーや会員を対象に、おもてなしの向上に取り組んでいただくためのセミナー

イ 会員交流会

開催日 平成29年11月22日(水)
会場 ゲストハウス フォレストヒルズ
参加者 52人
内容 会員相互の交流を促進し活性化を図る目的で開催し、ビューローの平成29年の事業活動報告等

ウ 富士山観光交流フォーラム

開催日 平成30年2月14日(水)
会場 富士市文化会館ロゼシアター4階 第1会議室
参加者 58人
講師 株式会社はとバス観光バス事業本部 企画旅行部長 江澤信一氏
内容 「はとバスが仕掛ける『企画力』の極意と地域資源の活かし方」講演

(2) 広報宣伝事業

ア 広報紙の発行

広報紙「富士山観光交流ビューローNEWS」を4回発行し、会員及び全国の観光協会、ビューロー等に送付し、富士地域の情報や当ビューローの活動内容を広報した。

イ ウェブサイトの改修

「自然・観光」「パンフレット閲覧」「会員情報」ページの改修とともに、英語、中国語、韓国語サイトの充実を図った。

ウ SNSを活用したプロモーション

フェイスブックを利用し、時季に合った観光情報やビューローの取組等を随時更新し、富士地域の広報宣伝に努めた。

3 新富士駅観光案内所運営事業

(1) 新富士駅観光案内所の来訪状況

ア 新富士駅観光案内所において案内業務を行い、来訪者の観光案内、宿泊、交通案内及びイベント案内等を行った。

年間合計	案内所来訪数	31,728人	(昨年比 +1,962人)
	うち外国人	8,362人	(昨年比 +698人)
	外国人比率	26.4%	

※宿泊案内件数	富士市内	506件	
	富士宮市内	166件	
	その他	106件	合計778件(昨年比 +40件)

(2) 情報収集事業

ア 富士山観光メッセージボードの更新

当ビューロー事務所の外側の壁に設置したボードに、来訪者から寄せられるメッセージの外国語には和訳を付け掲示し、来訪者同士で富士地域の印象を共有した。

イ 最新の観光情報の収集

開花状況や新たな観光要素の取組等の最新情報を、現地調査や電話などで常に把握し、正確な情報提供を行った。また、公共交通機関等を利用し、来訪者目線での現状を把握し実務に活かした。

(3) 情報提供事業

ア 富士登山情報

- ・マネキンによる安全な登山装備を啓発
- ・パンフレット、バス時刻表等関連資料をウェブサイトに掲載するほか、JNTO、近隣案内所等に提供した。
- ・静岡県の「富士山世界遺産」デジタルサイネージを設置し、日英中韓の四カ国語で富士山情報を提供した。

イ その他の情報

ツイッターやフェイスブックを利用し、富士地域の気象情報やイベント情報、富士山の画像等を配信した。

ウ 桜マップ作成事業

富士市内の桜の見どころを記載した桜マップを作成配布し、富士川楽座、道の駅富士や道の駅朝霧高原、宿泊施設等に配架した。

(4) 来訪者の利便性向上事業

ア 登山バスチケット販売

富士登山シーズン中、登山バスチケットを受託販売し、登山案内とともに登山客の利便性の向上を図った。

イ 手ぶら観光サービス

荷物預かりや宅配により、身軽に富士登山や富士山周辺の観光を楽しむことができるサービスを開始した。また、当ビューロー、御殿場市観光協会、富士河口湖町観光連盟と連携し相互配送を行い、通り抜け型富士登山をアシストする体制を整えた。

(実績) 相互配送 1件 宅配 217件 荷物預かり 345件

(5) おもてなし事業

「男前証明書」・「べっぴん証明書」の発行

富士山が見えない日の来訪者に、富士市のかぐや姫伝説に因んだ「見えなかった証明書」を発行し、再度訪れていただくよう配布した。

(配布数) 男前証明書 1, 273枚 べっぴん証明書 1, 346枚
合 計 2, 619枚

(6) レンタサイクルサービス

ア 自転車無料貸出事業

新富士駅来訪者を対象に、散策用の自転車11台を貸し出した。

年間貸出数 803人 (昨年比 -56人)

内、外国人287人(昨年比 -38人) 比率35.7%(昨年比 -2.1%)

※前輪に、観光写真をプリントしたホイールカバーやフェンダー等に反射フィルムを
圧着した自転車5台を、(株)サンケミカル様より寄贈いただいた。

イ モデルコース紹介

レンタサイクルを利用した散策用に5エリアのモデルコース(英語併記)を配布し、
利用者への利便性を図った。

II コンベンション推進事業

1 開催支援事業

(1) コンベンション開催支援事業

スポーツ、学術、文化等の大会に、パンフレットやコンベンション関連グッズの支援、
歓迎モニュメントの設置を、主催者には大会会場、懇親会会場の紹介を行った。

平成29年8月5日(土)～6日(日)に静岡県富士水泳場で開催の第68回日本実
業団水泳競技大会では、富士地域に因んだ飲食や土産物等のブースを運営し、全国か
らの来訪者へおもてなし事業を展開した。

ア 大会の開催実績

- ・大会開催数 18件(内、スポーツ大会12件)
- ・大会等参加者数 約14,300人

イ 歓迎モニュメント設置

老朽化に伴い大型モニュメントを新規作製し、大会に設置した。

- ・年間設置件数 15件(屋内1件 屋外14件)

2 調査企画・情報収集事業

(1) 圏域内のコンベンション開催状況調査

富士地域のコンベンション施設へ開催状況や今後の開催予定を調査するとともに、富
士市役所各課へ聞き取り調査を行った。

(2) 情報収集

ア 中部コンベンション連絡協議会に出席し、各コンベンションビューロー等と情報交換、
情報収集を行った。

イ 経済波及効果調査を実施した。(第68回日本実業団水泳競技大会)

III 観光振興事業

1 旅行商品企画販売協賛事業

(1) 旅行商品企画事業

富士のふもとの観光大商談会の開催

富士地域の魅力ある観光素材を広く情報発信するとともに、ビューロー会員と旅行会社の交流を図るため、首都圏、中京圏、関西圏の旅行会社企画担当者等を招き、ビジネスマッチングやファムトリップを企画運営した。

・開催日 平成30年1月16日(火)～17日(水)

・参加者 旅行会社 25社 31人 富士地域事業者 40社 66人

(2) 富士山しらす街道推進事業

全国的にも知られるようになった「田子の浦しらす」が、平成29年6月に農林水産省の地理的表示保護制度(GI)に登録されたことから、PR活動を強化し誘客事業を展開した。

ア 富士山しらす街道フェアの運営

田子の浦漁業協同組合やしらす漁関係者、地元町内会等で実行委員会をつくり、釜揚げしらすをメインに富士山しらす街道の周知と観光振興を図った。

・開催日 平成29年6月25日(日)

・来場者 約3,000人

イ 田子の浦港漁協食堂ほか運営支援

団体のバスツアーで訪れた後の個人客のリピーター増を推進

年間実績 個人客 51,045食(昨年比 -15,471食)

※漁協食堂のみ

団体客 15,613食(昨年比 -3,226食)

※田子の浦しらす提供全体

合計 66,658食

ウ 広報、PR活動

田子の浦漁協と連携して事業をPRするとともに、SNS等を活用し「田子の浦しらす」の認知度を高めた。

その他、新聞・テレビ等のメディアへの取材協力や情報提供を行った。

年間実績 新聞16回、雑誌2回、ラジオ5回、テレビ18回、

フリーペーパー1回、SNSによる投稿多数

(3) 農業観光推進事業

ア 農業体験観光

ブルーベリー狩りやいちじく狩り、落花生やサツマイモの収穫体験など農業観光体験バスツアーによる誘客を行った。

ブルーベリー狩り バス 32台 誘客数 928人

いちじく狩り バス 6台 誘客数 130人

落花生掘り バス 2台 誘客数 39人

サツマイモ掘り バス 8台 誘客数 175人

お茶摘み バス 4台 誘客数 52人

ブルーベリー共和国については、ウェブサイトやチラシ、PRグッズ作製等、個人向けにも積極的に広報し誘客を図った。

イ その他農業観光

富士山の絶景ポイント大淵笹場のお茶畑撮影ツアー

バス 28台 誘客数 約800人

2 企画イベント事業

(1) 企画・イベント事業

ア ステーションプラザF U J I内で開催されたイベントに共催及び協賛等の支援を行った。

- ・富士山お山開き写真展 「写団ふじ」平成29年7月8日(土)～14日(金)
- ・富士山周辺でみられる野鳥展
「日本野鳥の会」平成29年8月28日(月)～9月3日(日)
- ・富士山写真展 「写団富士宮」平成29年9月21日(木)～25日(月)
- ・富士山写真展 「主峰富士を撮る」平成29年10月9日(月)～16日(月)

イ 各種イベントに参加し、観光PR及び富士山グッズの販売を行った。

- ・富士のふもとの大博覧会 平成29年5月27日(土)、28日(日)
- ・富士市勤労者福祉サービスセンターフェスティバル 平成29年7月9日(日)
- ・ポートフェスタ 平成29年9月17日(月)
- ・富士山紙フェア 平成29年10月28日(土)、29日(日)

(2) レンゲの里づくり推進事業

吉永地区の富士山と新幹線の写真撮影スポットを活かすため、圃場の耕作者に来春のレンゲ畑づくりの演出を依頼した。また、須津地区の「富士山れんげまつり」の駐車場警備や仮設トイレ設置等を支援した。

(3) 富士のお茶販路拡大事業（富士市委託事業）

バスツアー客に対して、昼食時間等に、お茶の入れ方や効能等を紹介し販路拡大を図った。
ツアー催行件数 8件 誘客数 424人

3 協賛・補助事業

(1) 祭りやイベント等の協賛、助成事業

ア 市内外からの集客が多い各種例祭やイベントの運営に対する支援を行った。

- ・吉原祇園祭（吉原祇園祭実行委員会・イラストマップ制作委員会）
- ・田子の浦みなと祭り（田子の浦みなと祭り実行委員会）
- ・富士まつり（富士まつり実行委員会）
- ・甲子神社秋まつり（甲子秋まつり祭典委員会）
- ・富士山紙フェア（富士山紙フェア実行委員会）
- ・その他 4件

イ 各種大会、イベント等へ後援

- ・年間実績 19件

4 観光宣伝事業

(1) 観光誘客事業

ア 旅行会社への観光素材提案・商品造成セールス

首都圏（1都6県）から中京圏、関西圏までの旅行会社にセールスを行い、田子の浦しらす、産業観光体験、岳南電車、岩本山公園などをコースに組み入れたツアーが企画実施された。

旅行会社訪問件数 合計28回 延べ150カ所

年間誘客実績

・バス台数	758台 (-64台)	※延べ 907台
・誘客ツアーの参加者	23,313人 (-2,520人)	※延べ 27,100人

イ 観光広告事業

新聞、テレビ及び観光情報誌等に広告を掲載し、富土地域の観光情報や観光素材の知名度の向上に努めた。また、富土地域で観光に取り組んでいる人物を紹介し、地域の観光の取組をPRするラジオ番組「旅ラジ」の番組制作をラジオエフに委託した。

（放送は、平成29年4月より毎月1回で合計12回）

ウ 大淵笹場の茶畑のTV番組撮影に協力しPRした。

エ 富士商工会議所と連携して富士工場夜景PRを推進した。

(2) 観光誘客キャンペーン事業

ア 商談会参加

- ・ふじのくに静岡大商談会 in 東京 平成29年6月7日(水)
- ・ふじのくに静岡大商談会 in 名古屋 平成29年9月5日(火)
- ・ふじのくに静岡大商談会 in 大阪 平成30年2月7日(水)

(3) 富士まつり啓発事業

ア ウェブサイトによる啓発活動

当ビューローのウェブサイトを更新し、富士まつりの啓発やかぐや姫コンテストの募集サイトを掲載した。

イ 富士まつり 2017 に協賛し運営および案内等に協力した。

5 富士山百景PR事業

(1) 富士山百景写真展の開催

ア 富土地域の観光啓発と富士市の観光事業の知名度の向上を図るため、富士山百景写真展を5会場で開催した。

- ・富士市文化会館 ロゼシアター

平成29年4月30日(日)～5月6日(土)

- ・名古屋市 名古屋市民ギャラリー栄・中日ビル

平成29年6月13日(火)～18日(日)

- ・大阪市 天保山マーケットプレイス

平成29年6月30日(金)～7月2日(日)

- ・東京都新宿区 小田急百貨店新宿店
平成29年8月2日(水)～22日(火)
- ・大阪市北区 大阪市中央公会堂
平成30年1月26日(金)～27日(土)

イ ウェブサイトの更新と活用

- ・ビューローHP内「富士山百景フォトギャラリー」の写真と募集等紹介サイトを更新した。
- ・旅行会社、新聞社等に写真データを提供使用することで広く事業をPRした。

ウ PR用パンフレットとガイドブックの作成

- ・富士山百景PR用のパンフレットを東京、名古屋、大阪の静岡県観光案内所ほか近隣の道の駅、観光施設等に配布した。また、入賞作品を掲載したガイドブックを作成し新富士駅観光案内所等で販売したほか写真コンテストのPRに活用した。

6 観光施設整備事業

(1) 観光トイレの清掃管理

観光や周辺ウォーキングに多くの人を訪れる2箇所の寺院に設置してあるトイレの清掃管理を行った。(富士市シルバー人材センターへ委託)

実相寺・瑞林寺

7 観光ボランティアガイド養成事業

(1) 養成講座の開催

広報ふじ等で受講生を募り、観光ボランティアガイド養成講座を週1回全10回開催し、富士市の観光の人的充実を図った。

- ・受講生 14人
- ・期間 平成29年9月26日(火)～11月28日(火)

8 岩本山・雁堤活用事業

(1) 平成30年2月1日から4月8日までの「絶景☆富士山 まるごと岩本山」期間中のイベント及び峠の屋台村運営、観光ガイド「花咲案内人」の委託等を行った。

- ア 平成30年2月 1日(木) 梅の小枝プレゼント
- イ 平成30年2月17日(土) 観梅ウエディング2018
- ウ 平成30年3月 4日(日) タイムスリップ「岩本茶屋」
岩本山DE撮影会
- エ 平成30年3月10日(土) 夜梅×竹かぐや×二胡コンサート
- オ 平成30年3月11日(日) かぐや姫ポートレート撮影会
- カ 平成30年3月30日(金)～4月 1日(日)

夜桜プレミアムライトアップ～極上の夜景を添えて～
初企画 来場者 約3,300人

9 観光商品開発事業

(1) 観光ノベルティ作製

商標登録「日本一に会う。」を使用したノベルティとして、新規にウェットティッシュとクリアファイルを作製し、観光PRや旅行会社へのセールス等に活用し広く富士地域の魅力を発信した。

(2) 観光商品作製

富士山百景写真コンテストの入賞作品を使用した手提げ袋、フェイスタオル、絵はがきセットを新たに作製した。

<都市施設管理事業>

I 都市施設管理事業

1 新富士駅都市施設（ステーションプラザF U J I）の管理運営

(1) 施設の維持管理業務

ア 施設の管理業務

- ・開館日 年間を通じて開館
- ・開館時間 午前7時から午後10時
- ・施設の管理業務は、富士市シルバー人材センターに委託し派遣員の交替勤務により常駐管理を行った。(平日昼間は1人、夜間及び土日祝祭日は2人体制)

イ 施設の維持管理業務

- ・清掃業務 定期清掃は、月1回清掃専門業者により実施
日常の清掃は、シルバー人材センター派遣員により毎日
- ・設備等の保守及び法定点検は、其々の専門業者により実施（8業務）

建築物環境衛生安全管理業務	月1回
昇降装置保守点検業務	月1回
自家用電気工作物点検業務	月1回
夜間警備業務	毎日
空調設備機器保守点検業務	年3回
消防用設備機器保守点検業務	年2回
特殊建築物・建築設備点検業務	年1回
自動ドア保守点検業務	年2回

(2) 施設の貸出業務

貸出施設の利用状況

- ・サロン 477件（1,504時間） 4,428人
- ・展示場・ビジネスコーナー 49件（266日） 80,420人

II 自主事業

1 地域啓発事業

(1) 施設を利用した自主事業の実施

ア 富士山音の駅ミニコンサートの企画運営

- ・Xmas ミニコンサート “ハーモニカの調べ” 佐野良夫 氏
平成29年12月10日(日) 来場者 約200人

イ 富士地域の観光啓発イベントを実施

- ・双葉写真同好会、主峰富士を撮る、写団富士宮の合同による「新春富士山写真展」

平成29年12月27日(水)～平成30年1月4日(木) 来場者 約500人

ウ 富士地域に因んだ物産展、産業展の開催

- ・「富士市の新茶フルコース体験」

平成29年5月8日(月)～12日(金) 来場者 約150人

- ・「富士の一押し ここに集結！ 日本一を味わう。」

平成29年5月11日(木)～12日(金) 来場者 約500人

- ・産業のまち・富士市「旭化成株式会社」

平成29年5月18日(木)～31日(水) 来場者 約3,500人

- ・産業のまち・富士市「パーパス株式会社」

平成29年6月14日(木)～26日(月) 来場者 約3,000人

- ・産業のまち・富士市「ダイワ・エム・ティ株式会社」

平成29年6月27日(火)～7月7日(金) 来場者 約2,900人

- ・産業のまち・富士市「林製紙株式会社」

平成29年11月3日(金)～9日(木) 来場者 約3,000人

- ・産業のまち・富士市「日本プラスト株式会社」

平成29年11月14日(火)～20日(月) 来場者 約3,000人

- ・「富士の一押し ここに集結！ 日本一を味わう。」

平成29年12月14日(木)～15日(金) 来場者 約500人

2 企画事業

(1) 毘沙門天大祭に伴うおもてなし事業

毘沙門天大祭時の駐車場管理・運営を行った。

- ・富士市の依頼により、毘沙門天大祭来場者へのおもてなしとして、駐車場及びシャトルバスの運営を行った。

平成30年2月22日(木)～24日(土)

利用実績	3日間合計	乗用車	4,551台	昨年比	263台減
		バス	8台	昨年比	3台増

※ 参拝者数(主催者発表)

22日(木)6万人、23日(金)8万人、24日(土)12万人

合計 26万人 昨年比 2万5千人増

- ・臨時観光案内所を設置し、観光PR及びビューローグッズ等の販売を行った。